

# 油木高校3年生進路決定状況【速報】

**【推薦】**

- ☆香川大学・法学部  
〔普通科・豊松中出身〕
- ☆高知大学・理学部  
〔普通科・神石中出身〕
- ☆県立広島大学・生命環境学部  
〔産比科・豊松中出身〕
- ☆下関市立大学・経済学部  
〔普通科・油木中出身〕

**【一般】**

- ☆尾道市立大学・経済情報学部  
〔普通科・油木中出身〕

**★就職希望100%決定**

自衛隊(2)、トラスト神石、中元クリーニング、レインボーファーム、丸加海陸運輸、かんこフードサービス、休暇村帝釈峡、タカノフ食品、ダイフク工業、サングリーン、クニシゲ、神野ガラス店、東城町森林組合、東城有栖会シルトピア油木

**★合格した国公立大学 5人合格**

**★合格した主な 私大・短大・専門学校**

順天堂大、京都産業大(2)、京都精華大、京都橋大、近畿大、中国学園大(2)、美作大、広島国際大(3)、福山大(2)、福山平成大(2)、松山大、京都府立林業大学校、広島県立農業技術大学校、広島県立三次看護専、広島県立福山高専技術専門校(2)、広島県立三次高等技術専門校、修文大短大、夙川学院短大、中国短大、山陽女子短大、東洋医療専、関西美容専、岡山科学技術専、西日本調理製菓専(2)、IGL健康福祉専、広島酔心調理製菓専、広島リソート&スポーツ専、トリニティカレッジ広島医療福祉専(2)、広島美容専、福山福祉専(2)、福山YMCA国際ビジネス専、六吹医療福祉専、六吹調理製菓専

■選抜Ⅰの志願状況■

学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	12	16	1.33
産業ビジネス	12	5	0.42

■選抜Ⅱの志願状況■

学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	28	22	0.79
産業ビジネス	35	39	1.11

平成26年度県立油木高校  
入学者選抜志願状況



# 神石高原町連携型中高一貫教育ジャーナル 高原の風

第9号  
2014.3.14

平成25年度  
広島県立油木高等学校

## 卒業証書授与式

平成26年3月1日



卒業生代表答辞



在校生代表送辞



卒業証書授与



卒業生見送り



卒業生一同

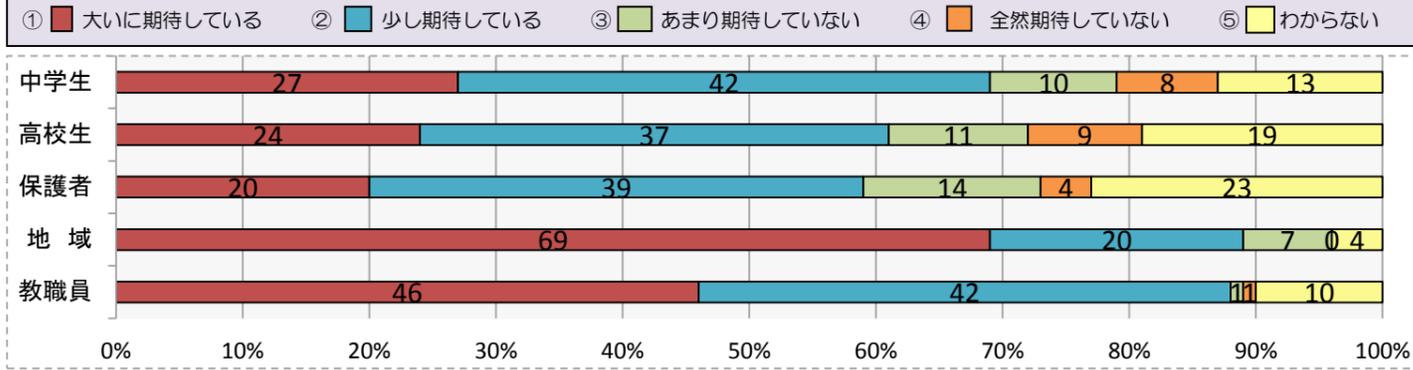
福永 神宮寺跡 エドヒガン(桜)

# 連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

本年度も町内の全中学生(217人)・油木高校生(148人)・小学校4～6年生保護者(178人)・中学校保護者(196人)・地域(83人)・中高教職員(77人)を対象として、見出しのアンケート調査を実施しました。その結果の一部を紹介します。

## 全員編

来年度から本格的に連携教育(交流授業・部活動交流・合同行事など)が実施されますが、そのことについてどう思いますか。

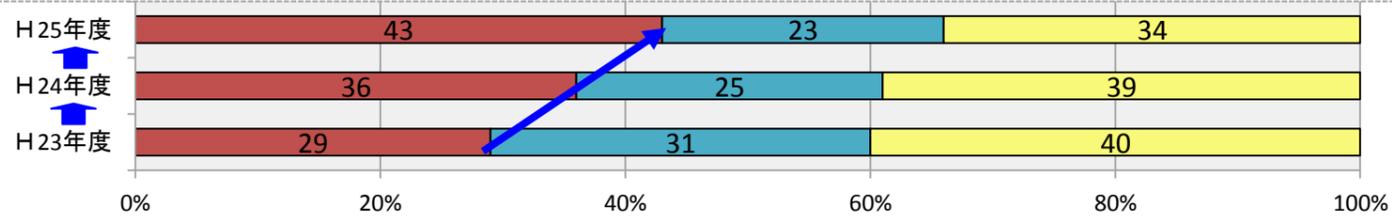


**考察** 「来年度からの連携教育への期待度」の大きさは、地域・教職員が90%近くあり、特に多くの教職員が期待感をもっていただいていることは大変重要なことであり、その期待感をもって今後指導いただけるものと思われる。  
また、中学・高校生も60%以上が期待感をもっており、その期待を裏切らないような教育の中身づくりをしていく必要がある。

## 中学生編

あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

① 思う ② 思わない ③ わからない

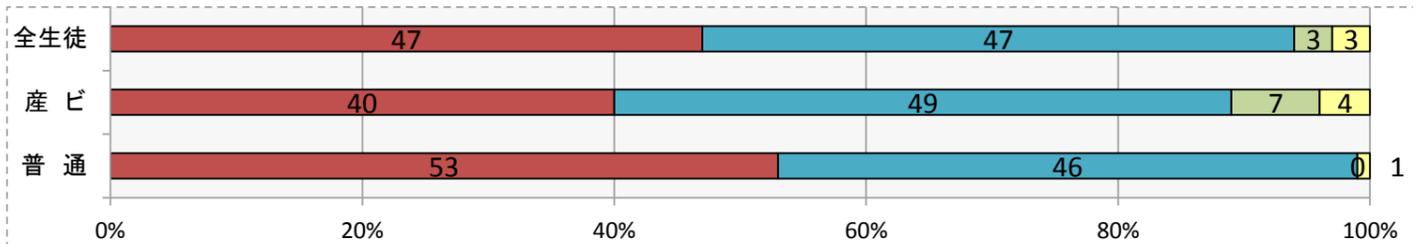


**考察** ・経年比較で「思う」が年々増加し、反対に「思わない」が多少でも減少しつつあるのは大変喜ばしいことである。  
・このグラフでは分からないが、各年度とも3年生の「思う」が際立って多くなっている。(H25:62%, H24:53%, H23:44%)  
・総体的に取組みの成果が少しずつではあるが、数字的にも表れてきていると思われる。

## 高校生編

あなたは油木高校へ進学して、現在どのように思っていますか。

① 大変よかった ② よかった ③ あまりよくなかった ④ 全然よくなかった



**考察** ・全体的にはほとんどの生徒(94%)が「よかった」と肯定的評価をしている。中でも「大変良かった」と満足している生徒が半数近く(47%)いることは、好ましい状況である。  
・「よくなかった」との否定的評価では、産業ビジネス科が高く、進路選択時の学科理解や将来を見据えた決定が重要と思われる。

通信衛星授業を受けてみての感想はどうか。 [受講回答者 53人(普:44人,産ビ:9人)]

① 大いに役に立つ ② 少し役に立つ ③ あまり役に立たない ④ 全然役に立たない

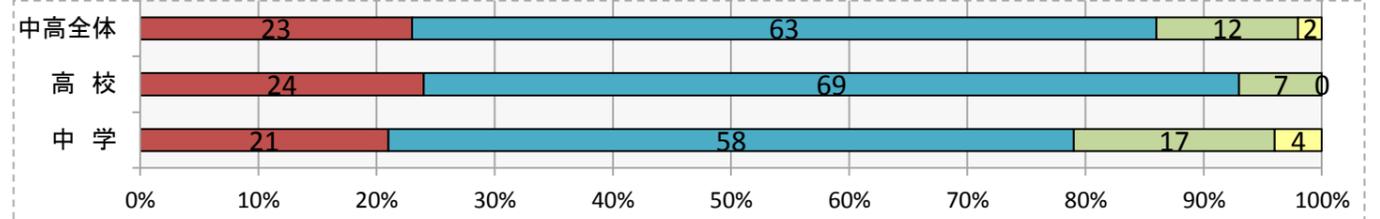


**考察** 受講生の多くは普通科生(83%)で、大多数の生徒が「大いに役に立つ」「少し役に立つ」と感じており、その理由として、「説明が分かりやすい、復習や授業に役立つ、大学受験に大いに役立つ、センター試験対策に役立つ、学校以外のことが学べる等」と感じていることなどからも、今や普通科・産ビ科共に大学進学志望者が多いだけに、この事業は継続していく必要がある。

## 教職員編

この1年間の中高連携の取組みを通して、自分の意識(理解・関心・意欲)は高まりましたか。

① 大いに高まった ② やや高まった ③ あまり高まらなかった ④ 全然高まらなかった

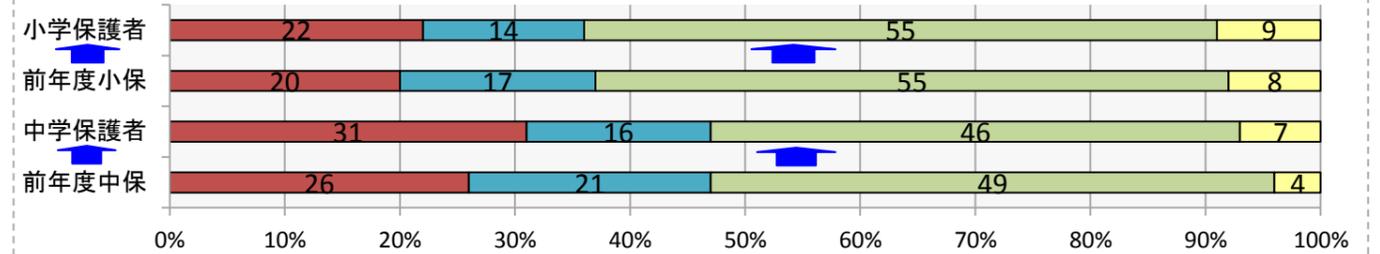


**考察** 概ね意識の高揚が見られる。しかし、「高まらなかった」の否定的評価が中高間で14%の差があるのは気になるところである。本格実施後は、中高間が共通理解と共通認識をもって取組んでいく必要がある。

## 小・中保護者、地域編

あなたのお子さんを油木高校に進学させたいと思いますか。

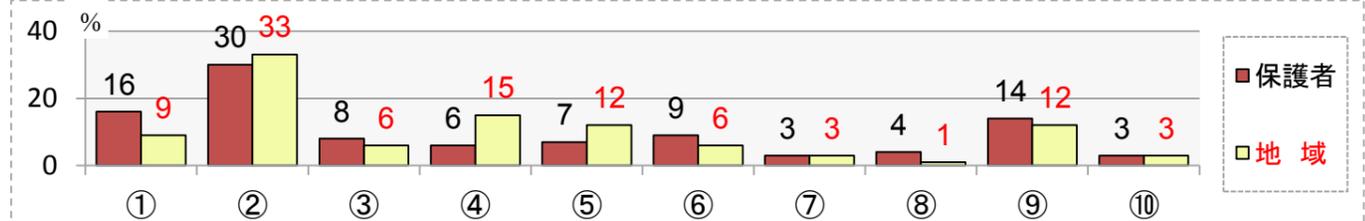
① 入学させたい ② どちらかと言えば入学させたい ③ わからない ④ 入学させたくない



**考察** 前年度と比較してもあまり変化はない。中学生の油木高進学希望率は高まってきているが、保護者に変化がないのは残念である。

油木高校の一層の魅力づくりとして、どんな支援策が必要だと思いますか。必要度の高いものを二つ選んでください。

- ① 通学便に係る支援
- ② 学力充実への支援
- ③ 部活動への支援
- ④ 産業ビジネス科の取組み支援
- ⑤ 町内就職に係る支援
- ⑥ 施設設備充実への支援
- ⑦ PR活動
- ⑧ 豊かな心の育成支援(芸術鑑賞など)
- ⑨ 生徒への研修費補助(海外研修、農業研修など)
- ⑩ その他



**考察** 保護者・地域ともに多いのは、「学力充実」「通学便」「生徒への研修費補助」であった。一方、特徴的なものに、地域から「産業ビジネス科への支援」や「町内就職に係る支援」が多かった。こうした意見を参考に、一層の魅力支援策を検討していく必要がある。